

ローマ人への手紙 5章8節 神は、あなたを愛しておられる

今年も YIBC にてバケーション・バイブル・スクールを開催することができ、大変うれしく思います。子どもたち、保護者の皆さんと本当に楽しい時間を過ごすことができました。この学びの大きなテーマは、宝物を見つけるための旅、でした。そして、子どもたちが行った宝探しは、中心聖句として学んだ**ローマ人への手紙 5章8節**に要約されています。しかし、**私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。**神は、私たちを、私たちすべてを愛しておられます。ということは、神は、あなたを愛しておられるのです！神は、私たちを愛しておられる。これはどういうことでしょうか。私たちの考える愛とは、ごく軽い意味であることもあります。愛着とか愛好という意味で、スポーツが大好きです、食べるのが大好きです、本が大好きです、あのテレビ番組が大好きです、というのも愛の一種です。これは日ごとに変化することもある、気まぐれな感情です。それと比べ、私たちの人生においては、より不変的な愛があるはずで、夫、妻や子供への愛のように、生涯続くべきものです。このような場合であってすら、人間の結婚関係や親子関係は破綻し得るもので、配偶者、親や子に対し私たちが表明する愛も、絶対に挫けないとはいえません。ここが、神の愛と私たちの愛との違いです。そもそも、神が私たちを愛さなかったとしても、不思議ではありません。しかし、今週子供たちと学んだように、**聖書の神は、すべてをお造りになった創造主であり、ご自分が創造したすべてを愛する方です。**人が神々として崇める存在はたくさんある中で、この点で、神はほかの存在とは全く違います。

聖書に書かれているとおり、神は最初の男性と女性、アダムとエバをお造りになりました。ここで最も重要なのは、神は彼らを、神の栄光を反映するため、神ご自身の小さな鏡のような存在としてお造りになったことです。聖書の一番初めの書である創世記の1章27節に、**神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。**と書かれているとおりです。人が、ことばによって全宇宙をお造りになった創造主である神の栄光を反映すべく造られたのであるならば、人があらゆる面で神の栄光を現し、神との関係を享受し続けるはずだったと思われるでしょう。しかし、最初の間、神から禁じられた一つのこと、つまりある木の実を食べること、これを行ったことで、神の栄光を現すことができなくなりました。この出来事ですべてが変わり、アダムとエバの後に生まれた人間全員、つまり私たちも皆、神に不従順な者として生まれ、アダムとエバが本来できていたように神の栄光を完全に反映することは、できません。この不従順が、罪です。新約聖書のローマ人への手紙には、この最初の罪が私たちに受け継がれ、最初の間2人の後に生まれた私たちはすべて、生まれながらにして、その性質において、罪人であると書かれています。**ローマ人への手紙 5章12節に、こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——**と書かれているとおりです。では、なぜ神は私たちを愛されるのでしょうか。神は私たちをお造りになりましたが、被造物である人は神に背き、私たちはすべて、その性質として、神に背いており、私たちの考え、言動、態度において神の栄光を反映することができません。これが、罪人であること、に対する聖書の定義です。**ローマ人への手紙 3章23節に、すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**と書かれているとおりです。そして、私たちすべてが抱えるこの罪により、私たちは神の怒りの対象となります。神は、この罪を罰さなければなりません。**ローマ人への手紙 1章18節に、¹⁸ というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。**と書かれているとおりです。聖書には、神の怒りの下での罪に対する究極の罰は、地獄と呼ばれる場所であると書かれています。イエス・キリストを拒絶する者はここで、意識がある状態で、永遠に苦しみを受けます。なぜ神は私たちを愛されるのでしょうか、と先ほど問いましたが、これに加え、神は私たちの罪のため、私たちを罰することを約束しておられながら、どうやって私たちを愛されるのでしょうか。この問いへの答えはまさに、**ローマ人への手紙 5章8節**に書かれているとともに、**ヨハネの福音書 3章16節**により深く示されています。¹⁶ **神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**この聖

書箇所、ヨハネの福音書 3 章 16 章に「神は、・・・お与えになったほどに世を愛された」とあり、また、ローマ人の手紙 5 章 8 節に「神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます」とあるのは、神が私たちをどのように愛されているかを示しているのです。神は、私たちが犯してきたすべての罪よりも大きな愛を、驚くべき愛の行動を通して示されました。神は、ご自分の御子、イエス・キリストをお与えになったのです。

イエス・キリストをお与えになることで、神がご自分の愛を示しているのであれば、このイエス・キリストがどんな方であるのかを理解しなければなりません。今日の聖書箇所であるローマ人への手紙 5 章 8 節に、**キリストが私たちのために死なれたこと**、これによって、神は私たちへのご自分の愛を示しておられると書かれています。ここに示される神の愛とは、神から私たちに對する、とてつもなく強い献身的な愛であるはずで、死ぬことは、愛による、最も強い献身の表現だからです。誰かのために死ぬことは、その誰かに対する最高の愛の行動です。昔から、ほかの人々のために死んだ人がたくさんいます。戦争の中で自国を守りながら命を落とす人は、その国に生きる人々のために死んでいくのだという考え方があります。ほかの誰かのために死ぬことが、英雄的であり、何らかの名誉ある行為であるということは、ほぼ誰もが認めることでしょう。しかしイエスの死は、違っていました。ヨハネの福音書 3 章 16 節に戻ると、「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」と書かれています。イエスは世に与えられました。そして、イエスを信じる者であれば、どこの誰であってもその恩恵にあずかることができる、そういった形で世に与えられたのです。ほかの犠牲的な死は、愛する誰か、あるいは一国を救うことができるかもしれませんが、イエスが死なれたのは、世のすべて、この世に生きてきた人すべてのためだったのです。どうしてこのようなことがありえるのでしょうか？ どうして世のすべてが、2000 年前に起きた死の恩恵を受けることができるのでしょうか。そしてその死が、どう神の愛を示すのでしょうか。

私たちはすべて、神に対して罪を犯しているという事実を先ほど確認しました。神は私たちの創造主であり、何が神の栄光を現し、何が神の栄光を現さないか、つまり、罪とは何かを決める権利があります。そして、罪は、私たちの最大の問題です。罪は、聖書に書かれているとおりに私たちをお造りになり、私たちを愛しておられる神から、私たちを引き離します。罪は、私たちと神との間にずれ、断絶を引き起こし、神の怒りの対象となるという永遠の結末をもたらします。イエスの死は、不可能であるはずのことを成し遂げました。この断絶を埋め、罪を抱えている私たちと、創造主である神との関係を回復させることを可能としたのです。この真理は、エペソ人への手紙 2 章 13~14 節にある聖書の言葉から確信できます。¹³ **しかし、かつては遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。**¹⁴ **実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、と書かれているとおりにです。これがどうやって、イエスによって成し遂げられたのでしょうか。イエス・キリストにおいて、神は私たちの罪が赦されるための道を備えました。イエス・キリストは御子なる神です。そして、神であり人間でもありました。イエスは、完璧に神の栄光を現しました。イエスは、何一つ罪を犯しませんでした。しかしイエスは靈的に私たちの罪を負い、自ら進んで私たちが受けるべきであった罪のための罰を受け、十字架の上で死なれました。コリント人への手紙第二 5 章 21 節に、**神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。**と書かれているとおりにです。私たちを救うには、イエスは罪のない方でなければなりません。例えば、あなたと私がボートに乗っていて、ボートに穴が開いて沈んでしまい、私たちは溺れないように水中でもがいているとします。もし、私たちが 2 人とも泳げないのに、私が溺れかけているあなたを助けに来て、岸まで一緒に泳ごうとしても、おそらく 2 人とも溺れてしまうでしょう。私たちに必要なのは、私たちと同じ境遇に陥っておらず、私たちを助け出してくれる誰かです。力強く泳げる人、またはボートに乗っていて沈んでおらず、私たちのように水の中でもがいていない人が必要です。イエスは、私たちにとって、このようなお方なの**

です。イエスは私たちのように人でありながら、私たち全員が抱える罪には囚われていませんでした。ですから、イエスが十字架の上で死なれた時、その死は、イエスご自身の罪の結果ではありませんでした。もし私たちのうちの誰かがほかの人のために死ぬとしたら、その死は自分の罪への正当な報いです。しかしイエスは、私たちの罪を、自ら背負われたのです。父なる神は、**コリント人へ手紙第二 5章 21節**にあったように、**私たちのため**、御子なる神、イエス・キリストをお与えになりました。神は、イエス・キリストをあなたの罪のために十字架の上で死ぬために遣わされるほど、あなたを愛しておられます。そして私たちが自分の罪を認め、悔い改め、イエスが自分のために死んでくださったことを信じ、自分の主であり救い主として受け入れることで、私たちは罪から救われます。私たちの罪が赦され、創造主である神との正しい関係が回復できるのです。**使徒の働き 16章 31節**に簡潔に、「**主イエスを信じなさい。そうすれば、救われます。**」と書かれているとおりです。

そしてこれらはすべて、間違いなく、私たちがまだ罪人であったときに成し遂げられたことです。ローマ人の手紙 5章 8節にあるとおり、**私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれた**のです。神はあなたに、何とかして自分を清めて道徳的に正しい人間になってから、イエスを通してご自分のところに来るよう要求していません。事実、私たちは、何をどうやっても、自らの努力で道徳的に正しくなることや、自分固有の義を持つことはできないのです。聖書には、イザヤ書において、神から離れた私たちの行いは、私たちにとって最善、最も道徳的であっても、不潔な衣のようだと書かれています。**イザヤ書 64章 6節**に、**私たちはみな、汚れた者のようになり、その義はみな、不潔な衣のようです。私たちはみな、木の葉のように枯れ、その咎は風のように私たちを吹き上げます。**とあるとおりです。神はこのように私たちを見ておられますが、私たちのほとんどは、自分をこのように見ようとしません。自分は、教養があり、賢く、愛のある夫や妻であり、よき親であり、法律を順守する立派な市民であり、仕事は一生懸命している—私たちは、このように自分に言い聞かせることで、神が憎む罪を、自分が犯しているということから目を背けようとしています。神は、聖書を通して、ご自分がどのような方であるかを明らかにし、ご自分の栄光を現すこととして、何を求めるかを示しておられます。そして神が私たちに与えている最初の命令のひとつは、**出エジプト記 20章 3節**にある、「**あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。**」です。皆さんのうち、拝んでいる方もいるかもしれませんが、私たちの周りには神社や寺などに偽りの神々がたくさん置かれています。それだけでなく、私たちすべての心の中には、もっと多くの偽りの神々がいます。私たちは、欲という神を崇拜し、お金さえ十分にあれば、すべてがうまくいくと考えます。私たちは、学歴という神を崇拜し、よい学校に行けば、価値ある、立派な人生が送れるはずだと考えます。私たちは、家族という神を崇拜します。家族は、真の神からの素晴らしい賜物ですが、素晴らしい子供や完璧な配偶者を持つことで、究極的な満足を得ることや、人生における罪という本当の問題を解決することはできません。神は、あなたをお造りになった方です。その神の栄光を、私たちは、罪のため、私たちが生きていく中で現すことができません。しかし神は、御子なる神、イエス・キリストを、完全に罪のない人生を生き、私たちの身代わりとして、私たちの罪に対する神の裁きと怒りをご自身の上に負い、義なる、罪なきささげ物として十字架の上で死ぬために与えられました。それは、神の愛のゆえです。そして、神は、私たちが悔い改めてイエス・キリストを主であり救い主として受け入れるとき、キリストご自身の義を与える、と約束してくださっています。その義に基づいて、私たちは赦されるのです。なぜなら、イエスが既に私たちが受けるべき罰を受けてくださったからです。これが、**しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。**という聖書の言葉の意味です。

ここで、日本語における「義」の漢字を見てみたいと思います。2つの漢字が重なっている構成です。下の漢字は我です。私という意味です。「私」という一人称代名詞を使う時、私たちは自分自身のことを言っています。私たちから見た、自分自身を指しています。このように、この漢字は、私という人間を表します。しかし、その我、「私」の上にもう一つの漢字があります。そ

れは、羊です。羊を意味する漢字です。どうしてこれが重要なのでしょうか。聖書では、イエスは神の子羊と呼ばれています。新約聖書において、イエスが登場する場面で、このように呼ばれているのです。ヨハネの福音書 1 章 29 節に、その翌日、ヨハネは自分の方にイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」と書かれているとおりです。聖書の初めの部分である旧約聖書では、何千もの子羊が繰り返し、いけにえとして捧げられました。これらは、イエスが十字架の上でいけにえとして捧げられることを予め指し示していたものです。新約聖書では、このため、イエスが神の子羊と呼ばれているのです。そして、このいけにえの子羊が私の心に置かれるときはじめて、このイエスの犠牲を通してのみ、私は義とされるのです。

「義」という漢字が考案されたときこのような理解があったかはわかりませんが、神の御前において義とされるとはどのようなことかを、美しく描写していると思います。私たちが義とされることができるのは、私たちがキリストの義の中にあるときのみです。これは、私たちが自分の罪を悔い改め、私たちの代わりに十字架の上で死なれ、神の愛を示し、創造主との関係を回復してください。あなたを信じる時に私たちに与えられる、キリストの義です。最後に問うべきなのは、これから、あなたがイエスとどう関わるかです。イエスを拒絶する、または無関心でいつづけることもできます。このどちらの場合も、あなたは、神の目には罪人のままであることとなります。あるいは、イエスと、イエスが差し出してくださる救いを受け入れることができます。そのためには、あなたの罪を悔い改め、イエスをあなたの主であり救い主として信じることです。そうすることで、創造主である神に対する罪が赦され、ご自分のかたちに似せて、ご自分の栄光を現すためにあなたをお造りになった、神との関係を回復させてもらうことができます。祈りましょう。

Romans 5:8 God loves you

It was such a great joy to once again be able to have Vacation Bible School here at YIBC. We had a fun week that you have already heard a lot about, and really enjoyed spending time with the children and many of the parents as well. Our focus for the entire week was around one big idea, that we are on a journey to find the treasure. And the treasure hunt the children were on is summarized in the key verse we have learned, **Romans 5:8. But God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.** God loves us, all of us...which means God loves you! What does it mean that God loves us? Our idea of love can be pretty weak. We love sports. We love food. We love this book or that tv show. And those loves are fickle and can change by the day. There are loves that should be more permanent in our lives, our spouse, our children... those are loves that should carry lifelong commitments. But even in those cases, those relationships can break and the love we proclaim for those other people in our lives can fail. But this is the difference we see in God's love. If there was ever a reason for someone's love to have cause to be withdrawn, it is God's love toward us. As we taught the children this week, what sets this God, the God of the Bible apart from every other being that people claim to worship as a god is that **this God is the Creator of everything and the lover of everything that he has Created.**

The Bible teaches that this God created the first man and woman, Adam and Eve, and most importantly he made them to reflect his glory...to be like little mirrors of himself. The first book of the Bible, **Genesis 1:27 tells us this, So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.** With humans created in the image of God to reflect the glory of a Creating God who spoke the universe into existence, you would think that humans would have continued in every way to glorify this God and enjoy the relationship they had with Him. Unfortunately, the first humans failed to give God glory by doing the one thing they were told not to- eat fruit off a certain tree. This changed everything and from that time on, all humans who came after Adam and Eve, which is all of us are born in disobedience to God and not perfectly reflecting God's glory as Adam and Eve originally did. We call this disobedience sin. In the New Testament book of Romans, we are told that this first sin was passed on to us, making all of us born after those first two humans, sinners from birth, by our very nature. **Romans 5:12 says, 12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned.** So, why should God love us. He created us, but his creation rebelled against him, and now all of us are naturally in rebellion towards him, and fail to bring him glory by our thoughts, words, actions and attitudes. This is the Bible's definition of being a sinner. **Romans 3:23 says, "For all have sinned, and fall short of the glory of God."** The fact is that this sin that all of us deal with puts us under the wrath of God. God must punish this sin. **Romans 1:18 says, 18 For the wrath of God is revealed from heaven against all ungodliness and unrighteousness of men, who by their unrighteousness suppress the truth.** The Bible describes the ultimate punishment for sin under God's wrath as a place called hell where those who reject Jesus Christ will spend eternity in conscious torment for their sin. So not only why should God love us, but how does God love us if he has promised to punish us for our sin? The answer to that question is right here in Romans 5:8 and explained more fully in **John 3:16, 16 "For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.** When the Bible says, **"God SO loved the world"** here in John 3:16 and **"God shows his love for us in that..."** in Romans 5:8, it is saying that this is the manner

in which God loves us. The way he shows us his love that is greater than all the sin that we have done, is through this one incredible act of love. He sent his son, Jesus Christ.

If sending Jesus Christ was the way God showed us his love, then we have to understand who this man, Jesus Christ, is. Of course, our verse in Romans 5:8 tells us that the way God shows us his love is that "...**Christ died for us.**" So, however this shows God's love, it must be an incredibly strong commitment he makes to us, because death is the strongest commitment of love one can make. To die for someone is the highest act of love for a person. Many people have died for other people in the past. There is a sense that those who die in war defending their countries are dying on behalf of those living in that nation who they are protecting. Almost everyone recognizes heroism and likely some sense of honor in dying for another person. But Jesus's death was different. Going back to [John 3:16](#) that tells us "**For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.**" Jesus was given for the world in such a way that anyone from anywhere who believes in him would have a benefit. Other sacrificial deaths may have benefitted one loved one, or even one entire nation; but Jesus's death in some way benefits the entire world, and everyone who has ever lived anywhere in it. How can that be? How can a death that happened 2000 years ago benefit the entire world? And how does that death show us God's love.

We already established the fact that all of us have sinned against God. He is our creator and has the right to determine what brings him glory and what doesn't and therefore what sin is. That is our greatest problem. It separates us from our God who created us and we are told loves us. It creates a break, a ZURE in Japanese between us and our God and condemns us to an eternal destiny of being under God's wrath. Jesus's death did the impossible, it made it possible for that break to be mended, for us to be made right with our creator in spite of that sin. Another passage in the Bible, [Ephesians 2:13-14](#) assures us of this truth. **13 But now in Christ Jesus you who once were far off have been brought near by the blood of Christ. 14 For he himself is our peace, who has made us both one and has broken down in his flesh the dividing wall of hostility.** How did Jesus do this? In Jesus Christ, God provided a path to forgiveness for our sin. Jesus Christ who was God the son, both God and human, perfectly glorified God. He never sinned. But he spiritually took on our sin, and willingly died on a cross to take the punishment for that sin that we deserved. [2 Corinthians 5:21](#) says, **For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.** Jesus had to be without sin in order to save us. **Let's say that you and I are out on a boat, and for the sake of illustration our boat develops a hole and sinks and we are floundering in the water trying not to drown. If both of us could not swim, but I came over to try to rescue you from drowning and swim with you to the shore, we would probably both drown. What we need is someone to rescue us who is not trapped in the same circumstances as we are. We need someone who is a strong swimmer or someone who is in a boat and not fighting the water themselves.** This is who Jesus is to us. He is one of us, but was never trapped in the same problem of sin that all of us had. So when he died on the cross, his death was not simply the result of any of his own sin. If any of us were to die for anyone else, our death would simply be the just reward of our own sin. But Jesus took our sin on himself. God the Father gave God the Son, Jesus Christ **..For our sake,** as [2Corinthians 5:21](#) just told us. He loves you so much that he sent Jesus Christ to die for your sins on the cross, and when we recognize and repent of our sins

and accept Jesus Christ as our Lord and Savior by believing he died for us, then we are saved from our sins. We are forgiven for them and restored to our rightful relationship with God, our creator. The book of [Acts 16:31](#) puts it simply, [Believe in the Lord Jesus, and you will be saved.](#)

And make no mistake he did all this while we were still sinners. As our verse Romans 5:8 tells us, **while we were still sinners, Christ died for us.** God isn't asking you to somehow clean yourself up into a moral person before you come to him through Jesus. In fact, you can't do anything to establish your own morality, your own righteousness. In the Bible, the book of Isaiah describes righteousness our best and most moral actions apart from God as still being like filthy dirty clothes. [Isaiah 64:6](#) says, [We have all become like one who is unclean, and all our righteous deeds are like a polluted garment. We all fade like a leaf, and our iniquities, like the wind, take us away.](#) Most of us don't like to think of ourselves like this, like God sees us. We are educated, smart, loving husbands and wives, good parents, honorable law-abiding citizens, and hard workers at our jobs. That's what we tell ourselves to avoid seeing that we have committed sins that God says he hates. In the Bible, God reveals to us who he is and lays out his expectations of what brings him glory. And one of the earliest commands he gives us in the book of [Exodus 20:3](#) God tells us, [3 "You shall have no other gods before me.](#) Not only do we have many false gods represented all around us in shrines and temples that some of you may be guilty of worshipping, but there are far more false gods in the hearts of all of us. We worship the god of greed thinking that if we have enough money it will fix everything. We worship the god of education thinking that the right school can make our lives worthwhile and us honorable. We worship the god of family. Families are a wonderful gift from the true God, but having wonderful children and the perfect spouse will not bring ultimate satisfaction or overcome the presence of real sin in your life. God is your creator. It is His glory that all of us have failed to live up to because of sin. But it is his love that sent God the Son, Jesus Christ to live a fully sinless life, and die on the cross as a righteous sinless sacrifice in our place, taking God's judgement and wrath against our sin on himself. And it is God who offers to give us Christ's own righteousness when we repent and accept Jesus Christ as our Lord and our Savior. Based on that righteousness, we are forgiven, because Jesus has already taken our punishment for us. This is what it means when the Bible says, **But God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.**

In Japanese, the Kanji for righteousness is GI (義). It is made up of two kanji stacked on top of each other. The bottom kanji is WARE (我). It means I. When we use the personal pronoun, "I", we are talking about ourselves. It is speaking of ourselves and how we see ourselves. I is who I am. But then we see the second kanji stacked on top of "I" or me. That kanji is HITSUJI (羊). This kanji means sheep. Now here is why this is important. In the Bible, Jesus is called the lamb of God. When he is first introduced to us in the New Testament, that is his title. In the gospel of [John, chapter 1, verse 29](#) we read, [The next day he saw Jesus coming toward him, and said, "Behold, the Lamb of God, who takes away the sin of the world!"](#) Many thousands of lambs were sacrificed over and over again in the Old Testament, the first part of the Bible. They were anticipating and picturing the sacrifice that Jesus would make on the cross. That is why in the New Testament, he is now referred to as the lamb of God. And when the sacrifice of that lamb is applied to my heart, only through his sacrifice, am I then made righteous. I have no idea if this was understood when the kanji GI (義) developed, but it is a beautiful

picture of how we can be made righteous in God's eyes. Only by being found in Christ's righteousness, that comes to us when we repent of our sins and believe in the one who died in our place on the cross to show us God's love and restore the relationship with our creator, can we be made righteous. The only question that remains then is, what will you do with Jesus? You can reject him or remain indifferent, and both of those options keep you as a sinner in the eyes of God. Or you can accept him and the salvation he offers by repenting of your sin and trusting him as your Lord and Savior, and be forgiven of your sin against your creator and restored into a relationship with the one who made you in his image to reflect his glory. Let's pray.